

2	地球儀と様々な地図	学習日 月 日	名前
---	-----------	------------	----

教科書 P8 ～ 要点ノート P4 ～

地球儀

地球の模型。実際の地球を小さくしたものであり、地球をほぼ正確に表している。

角度・距離・方位・面積などの要素がすべて正しい。

距離の調べ方

地球儀上で2点をひもで結び、そのひもの長さを測る

方位の調べ方

二本の紙テープを直角に交わるように貼り合わせ、中心を調べたい地点に合わせる。一方のテープが北極点と南極点を通るようにすると、もう一方のテープは東西を表すようになる。

※ 緯線に沿った線が東西になるのは、赤道上だけ。

地図

地球を平面に表したもの。球の展開図は存在しないため、正確ではなくなる。

→ 目的のよって様々な地図がつかわれる。

① 正積図法

地球上の面積を地図上に正しく表現する。

(1 サンソン図法)

長所 … 低緯度地方の大陸の形は比較的正しく表せる

短所 … 高緯度地方の形はひずみが大きくなる

→ 低緯度地方を中心とした地方図に使う

(2 モルワイデ図法)

長所 … 高緯度地方の大陸の形が比較的正しく表せる

→ 全世界を対象とした分布図に使う

(3 グート図法) = ホモロサイン図法

緯度 40 度 44 分から低緯度は(1 サンソン図法)、高緯度は(2 モルワイデ図法)を結合して表す

長所 … 高緯度地方の大陸の形が比較的正しく表せる

→ 全世界を対象とした分布図に使用。大陸相互の結びつきはわかりづらい。

(4 ボンヌ図法)

中緯度地方の地方図や大陸図に適している

② 正角図法

(5メルカトル図法)

地球上の角度の関係を正しく表現する

経線・緯線はそれぞれ平行な直線で表され、緯線と経線は常に 90 度で交わる

2 点間の直線は(6 等角航路)を表す。

※ 経線上を上下に動く場合は正確に南北を表す。

※ 赤道上を左右に動く場合は正確に東西を表す。

※ 上の 2 点の場合は(7 大圏航路)になる。

③ 正方位図法

地球上のある点からの方位を正しく表す

(8 正距方位図法)

中心点からの距離と方位が正しい。

中心点と 2 点の直線は(7 大圏航路)を表す。

円の中に世界すべてが描かれている。円周は中心点からみた(8 対蹠点)である。

※ 要点ノートP7の